

令和7年度第2回学校運営協議会報告書

1. 開催日時

令和7年10月22日(水) 午前9時30分～午前11時

2. 出席者

運営委員6名、本校教職員11名

3. 会議概要

- ・校長あいさつ
- ・本日の流れ説明
- ・高等部授業参観(作業学習・数学・美術)
- ・グループ討議(生徒発信・話し合い・情報共有)
- ・意見・感想

4. 校長あいさつ(要旨)

子供たちと一緒に学校をより良くする機会としたい。

生徒は関東卓球大会や全国陸上大会で練習の成果を発揮した。

地域交流活動がコロナ禍後に復活し、受け入れられている様子。

令和10年度に『全日聾研』研修会を開催予定。授業力・専門性向上を目指す。

デフリンピックに卒業生3名が出場。学校運営に継続的に活かしたい。

地域や保護者とつながり、学校を活性化させたい。

5. 生徒発信(高等部3年生)

- ・社会人になっても大切なことを知りたい
- ・いろいろな場所で交流したい
- ・活動をもっとPRしたい
- ・学校の施設をもっと良くしてほしい
- ・残り半年を充実させ、後輩が楽しく学べる学校にしたい

6. グループ討議の主な意見

【グループA】

- ・社会に出る準備や困難への対応が課題である。
- ・学習面や部活動での日常的な交流を増やすべき。
- ・他校との交流も検討してはどうか。

【グループB】

- ・生徒の『楽しいこと』を学校生活に取り入れる。
- ・発表や手話歌など、得意分野を発信する場を増やす。

7. 委員・保護者の意見

年齢・校種間交流を増やし、高校生が下級生を支援する取り組みを強化することで、充実感や憧れを育む効果が期待される。

幼児期からの音楽体験が子どもの興味を広げ、学校生活の見通しを持てる点は良いが、人数減少により手本となる上級生が不足していることが心配である。

生徒から直接意見を聞けたことは非常に貴重であり、今後も継続すべき。PTA や保護者の声も取り入れることを提案したい。

縦のつながりやデフリンピックなどの体験が、子どもの意欲や学びに良い影響を与えると期待している。

アンケートで示された「社会人に必要な力」と現場の授業にギャップがある。課題解決力を育てる教育の必要性を考えてもらいたい。

生徒の活動(ダンスや販売)を地域活動に結びつけ、交流の場を広げたい。具体的に検討していきたい。

8. まとめ

- ・難しい言葉も学びの機会になるように意識していきたい。
- ・子供の心に寄り添い、楽しい学校づくりを目指していきたい。
- ・今回の取り組みを継続し、地域・寄宿舎も含め改善策を検討していきたい。